

〔釈文〕

地震けん

「扱もこんどの大ぢしん、家ハぐハらく  
大へんな、人ハあへてどつちの方へ

参りましよ、土蔵と瓦でつぶされ

て、親父に子供がしかられて、やつとはい

くくに出して、こつちの方へサアきなせへ

「火事ハ所々へもゑあがり、にげる人こそ身

ひよこくまたぐらく、どつちの方へ参り

ましよ、やつたらむしやうとかけあるき

ち様がば様の手を引て、はいる内こそ

あらバこそ、お舟へサアきなせへ

「扱もふり出す大雨にらいハごろ

くいなびかり、ミなびしよぬれ

野宿ハできません、大へんく

大さハぎ、大工さんハ手間を上げてしから

れた、これから段々世が直り、金設でサアきなせへ

(※「合」という字は拳の唄を合唱する印)